

平成28年度 市職員(行政職・医療職)を募集

行政職で新たに「来たれ！即戦力」社会人経験者特別枠」の試験を実施

○行政職(社会人経験者特別枠・初級職)

必要事項を記入し、職員課へ提出(郵送可)

薬剤師は8月30日(日) ※看護師の面接試験のみ、

課、各支所・市民サービスセンターに備え付けの

○お問い合わせ
職員課人事係
☎22・7403

試験日 9月27日(日)(第一次試験)

受付期間 ①社会人経験者特別枠 ②初級職

8月26日(水)・28日(金)・30日(日)のいずれかに実施します。

申込書に必要事項を記入し、同病院事務局総務課へ提出(郵送可)

総合警成共立病院事務局
☎26・3177

試験会場 福島工業高等専門学校

9月4日(金)

試験会場 総合警成共立病院

受付期間 8月14日(金)

総合警成共立病院事務局

申込方法 職員課、各支所・市民サービスセンターに備え付けの申込書

○医療職・病院専門職

試験日 8月29日(土)(ただし、看護師・助産師・

※全職種とも、申込書は市ホームページから入手できます。

試験日 8月29日(土)(ただし、看護師・助産師・

申込方法 職員課、総合警成共立病院事務局総務

試験日 8月29日(土)(ただし、看護師・助産師・

試験日 8月29日(土)(ただし、看護師・助産師・

○行政職(「来たれ！即戦力」社会人経験者特別枠)

職種	採用予定人員	受験資格
一般事務職	3人程度	昭和52年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた方(学歴要件なし)で、民間企業等における職務経験を直近7年中(平成20年7月1日から本年6月30日まで)の期間に、通算5年以上有する方

○行政職(初級職)

職種	採用予定人員	受験資格
一般事務職	7人程度	昭和62年4月2日以降に生まれた方で、短大・高専・専修学校(修業年限が2年以上の専門課程)を卒業または来年3月までに卒業見込みの方。
土木職	3人程度	また、平成元年4月2日以降に生まれた方で、高校を卒業または来年3月までに卒業見込みの方 ※大学卒業(見込み)者は受験できません。
消防職	8人程度	平成元年4月2日以降に生まれた方で、短大・高専・専修学校(修業年限が2年以上の専門課程)を卒業または来年3月までに卒業見込みの方。 また、平成3年4月2日以降に生まれた方で、高校を卒業または来年3月までに卒業見込みの方 ※大学卒業(見込み)者は受験できません。
保育士	3人程度	昭和62年4月2日以降に生まれた方で、それぞれの職種の資格または免許を有するか、来年3月までに取得見込みの方
幼稚園教諭	1人程度	

○医療職

職種	採用予定人員	受験資格
看護師	45人程度	昭和55年4月2日以降に生まれた方で、それぞれの職種の免許を有するか、来年3月までに取得見込みの方 ※栄養士は、管理栄養士の免許を有する方のみとなります。
助産師	4人程度	
薬剤師	6人程度	
臨床検査技師	3人程度	
栄養士	1人程度	
理学療法士	1人程度	
作業療法士	1人程度	

○病院専門職

職種	採用予定人員	受験資格
診療情報管理士	1人程度	昭和55年4月2日以降に生まれた方で、診療情報管理士の資格を有するか、来年3月までに取得見込みの方

進んでいます いわきの復興 ⑮

早期の宅地引き渡しを目指し工事が進む震災復興土地区画整理事業

市は津波被災地である、久之浜、薄磯、豊間、小浜、岩間の5地区において同事業を実施しており、現在は宅地造成や道路・水路などの公共施設、さらにはライフライン等の整備を進めています。

また、岩間地区の一部(小原工区)においては、本年3月に市内初の宅地引き渡しを行ったところであり、今後も造成工事などが完了し次第、順次引き渡しを進め、平成29年12月には、全ての地区で引き渡しが完了する予定です。



住宅の建築が始まっている岩間地区の小原工区(平成27年7月撮影)

新たな宅地供給に向けて市営住宅の借地返還事業を実施

市は、震災以降の宅地不足に対応するため、新たに市営住宅借地返還促進事業を実施します。

同事業は、借地となっている市営住宅について、点在する入居者の集約を図るなどして、敷地を積極的に地主へ返還し、民間での有効な土地利用を促すものです。

なお、本年度は平地区の南白土団地の一部をモデル事業として実施し、業務の課題抽出やその検証結果を踏まえ、来年度からの事業実施に向け準備を進めていきます。



来年4月ごろの借地返還を目指しモデル事業として実施する南白土団地の一部

こんにちは市長室から ⑤



いわきが一番輝く「夏」

いわき市長 清水 敏 男

いわき市が、一年の中でひとときわ輝きを増す季節となりました。「いわき七浜」といわれる海水浴場も、「四倉」と「勿来」の2場ですが、今年も開設することができました。

また、市内各地で「いわきおどり」を中心に、さまざまな祭りやイベントが開催され、震災前にも増して賑わいの創出が図られていること、市長として大変うれしく思います。

私自身も子どものころから祭りやイベント

が大好きなので、できる限り参加し、多くの市民の皆さんと触れ合い、ふるさとの復興に懸ける「市民パワー」を感じたいと考えています。さらに、来年の市制施行50周年に合わせ、「いわき花火大会」を世界的アーティストの蔡國強氏のプロデュースによる「昼花火」と「夜花火」に拡大することや、「いわき回転櫓盆踊大会」の櫓を新しくすることへの協力など、実行委員会の皆さんと、共につくる「まつり」に向けて積極的に話し合いを進めています。

この夏、市内各地で開催される「夏まつり」全てが無事に行われ、多くの交流人口を創出し、市民の皆さんの心に元気を宿すような「心の復興」につながっていくことを、心から願っています。